

めざす生徒像	項目	主な取組内容	取組内容の評価指標(左:4月 右:目標)	達成状況(指標を達成:△ 未達成:▽)	分析・改善策・その他	自己評価	学校運営協議会委員コメント	評価
自分や仲間、すべての人を大切にする生徒	自尊心・感情・規範意識	①自己存在感・共感的人間関係・自己有用感を感じられる授業を研究していく。 ②生徒が互いに認め合う、褒め合う等肯定的評価を行う機会を多く設定する。 ③「考え・議論する」道徳の授業づくり(ペアワークやグループワークの活用) ④生徒理解に関する教職員研修を計画的に行う ⑤校内支援委員会の充実 ⑥サポートルームの有効活用 ⑦生徒会執行部・専門委員会の充実 ⑧学級会活動の充実 ⑨学年・学校行事の充実	①目指す生徒アンケート・道徳アンケート ・(肯定群割合) 「学校が楽しい」(89.4→95%以上) 「挨拶ができる」(93.2→95%以上) 「自分にはよいところがある」(75.3→80.0%以上) 「いじめはいけない」(97.1→100%) 「学校の規則を守っている」(93.2→95.0%以上) ②不登校生徒数(不登校傾向含む) ・新規不登校ゼロ					
	自己指導能力	①発達支持的生徒指導を基幹とする教育活動を推進する。また、生徒指導の諸課題の未然防止を図るため、課題予防的生徒指導(課題未然防止教育)を組織的・協働的に取り組む ②生徒指導の三機能をすべての教育活動に導入し、自己肯定感や自己有用感を育成する。 ③生徒に自己決定の場を与え、諦めずに取り組むきっかけをつくる。 ④SC・学年団による仲間づくりやソーシャルスキルトレーニングを実施。	①目指す生徒アンケート(肯定群) 「主体的にチャレンジする気持ちを大切にしている」(87.4→92.0%) 「うまくいかなかった経験からの学びを大切にしている」(92.8→95%) 「自分の考えや思いを伝えることができる」(79.6→85.0%) 「自分の考えや判断を大切に行動している」(90.8→95.0%) 「話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり広げたりできている」(90.2→95.0%)					
広い視野をもち、自ら判断し行動する生徒・目標を持ち、粘り強く挑戦する生徒	学力向上	①主体的・対話的で深い学びの実現を目指した授業づくり ②研究主題実現に向け、教科共通の取組として、「自分の意見を持たせる工夫」・「生徒同士をつなげる工夫」に取り組む。 ③個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実し、生徒が主役の授業づくりを進める。 ④教員が実践を学び合う機会を設ける。 ⑤放課後学習教室の実施(年間30回) 無料塾との連携(情報共有) ⑥生徒が様々な場目で端末を活用できる取組の実施	①全国学力・学習状況調査で県平均程度 県学力定着状況調査全教科で前年度比3P△ ④【めざす生徒アンケート】 ・一日の家庭学習時間90分以上の生徒の肯定割合(41.5→50%) ・「課題の解決に向けて自分から積極的に取り組んでいる」肯定群(91.7→95.0%) ・「話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりできている」(90.2→92.0%)					
	チャレンジ精神	①生徒に一歩目を踏み出す勇気を与えるため、スモールステップの成功体験を積み上げさせ、常に肯定的な評価・励ましを継続して行う。 ②キャリア教育でのゲストティーチャー等を活用し、「夢・志」を育む。(地域学校協働本部との連携) ③生徒会を中心に生徒の意見を取り入れた行事や取組を行い、達成感や次への意欲を育てる。 ④部活動の活性化を図る。	①目指す生徒アンケート(肯定群) 「主体的にチャレンジする気持ちを大切にしている」(87.4→92.0%) 「うまくいかなかった経験からの学びを大切にしている」(92.8→95%) 「将来の夢や目標に向かって努力している」(84.5→90.0%) 「学校が楽しい」(89.4→95%以上)					
目標をもち、粘り強く挑戦する生徒	郷土愛	①ボランティア活動を活性化し、地域行事への協力体制をつくる。 ②学校運営協議会・地域学校協働本部の協力を得て、郷土のことを取り入れた授業や体験を行う。 ③総合的な学習の時間(キャリア学習等)の取組を充実させ、地域の良さや課題を学ぶ場を設定する。 ④地域や行政と連携した防災学習や訓練に取り組む、自助力・共助力を高め、地域に貢献できる人材を育成する。	①目指す生徒アンケート 「自分の住んでいる地域が好きである」(84.5→90.0%) 「地域の魅力を伝えることができる」(77.8→80.0%) 「地域のために貢献できる人間になりたい」(85.0→85.0%)					